



おうちキャンプを楽しく安全に ～使い方・捨て方・選び方～

1. 事故の発生状況

2015年度から2019年度の5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県でキャンプ用品^{※2}の事故は合計15件^{※3}ありました。

(1) 県別および年度別事故発生件数(表1)

表1 キャンプ用品の事故の県別および年度別事故発生件数(2015～2019年度)

発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2015年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2016年度	0	0	1	0	0	0	0	0	1
2017年度	5	0	1	0	0	1	0	0	7
2018年度	2	1	0	0	0	0	0	0	3
2019年度	2	1	0	1	0	0	0	0	4
合計	事故件数	9	2	2	1	0	1	0	15
	火災件数	[8]	[2]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[12]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

※2:キャンプの際に使用される機会の多い製品(ガスカートリッジこんろ、ガストーチ、携帯発電機など)を対象としている。

※3:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(2) 県別および被害状況別事故発生件数(表2)

表2 キャンプ用品の事故の県別および被害状況別事故発生件数(2015～2019年度)^{※4}

被害状況	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	1	0	1	0	0	0	0	2
	重傷	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽傷	4	0	0	0	0	1	0	5
物的被害	拡大被害	3	1	1	0	0	0	0	5
	製品破損	1	1	0	1	0	0	0	3
被害なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	2	2	1	0	1	0	0	15

※4:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. キャンプ用品の事故事例

(1) 2017年4月（宮崎県、年齢性別不明、軽傷）

【事故の内容】

屋外でカセットコンロを使用中、カセットボンベが破裂し、6人が火傷を負った。

【事故の原因】

カセットコンロを2台近接して並べ、一方のコンロの五徳を裏返してセットし、それぞれに比較的大きな鉄板を用いて調理していたため、五徳を裏返した方のカセットボンベが加熱し爆発したものと考えられる。

(2) 2019年4月（佐賀県、年齢性別不明、製品破損）

【事故の内容】

使用中の携帯発電機付近から出火した。

【事故の原因】

破損箇所の修理時に、マフラーの排気口に装着されているテールパイプ（排気方向を90度側方に曲げて外部に排気するためのバンド管）が外されたままになっていたため、その後の使用に伴い高温の排気が排気口上方のウレタンフォーム吸音材等に当たり続けて発火したものと考えられる。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 担当者 矢代、原田

電話:092-551-1315 FAX:092-551-1329